

1. 件名「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽6，7号機（626）」

2. 日時：平成29年8月2日 18時10分～19時05分

3. 場所：原子力規制庁 8階 D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎課長補佐、忠内管理官補佐、秋本安全審査官、岡本安全審査官、小林（貴）安全審査官、櫻井安全審査官、竹田安全審査官、照井安全審査官、沼田安全審査官、村上安全審査官、宇田川原子力規制専門職、糸賀原子力規制専門員

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 原子炉安全技術グループマネージャー 他4名

5. 要旨

（1）原子力規制庁から、柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉の設置許可基準規則等への適合性のうち「50条 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備」における炉心損傷前格納容器ベント中に炉心損傷の徴候が発生した場合の格納容器隔離弁の運用及び格納容器異常漏えい時におけるベント使用判断について、弁の閉止及び耐圧強化ベントの使用の考え方を整理するよう伝えた。

（3）東京電力ホールディングス株式会社より、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：（平成29年8月2日提出資料と同じ）

・柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 格納容器ベント操作に係る考え方について